

「うみのこ」子育て情報



「おじいちゃんやおばあちゃんに子どもを預ける」ことができる環境は、とてもありがたいことですね。おじいちゃんやおばあちゃんにとっても、可愛い孫と過ごせることは楽しいひと時となります。でも・・・と感じることもあると思います。



おじいちゃんやおばあちゃんに預けるためのちょっとしたアドバイスです。

祖父母にしてほしくないと思うことは相談という形をとってみましょう

孫には甘い祖父母。「お菓子は食べさせてほしくない」と思って預けることに躊躇することもありますね。そんな時は「ご飯を食べなくて困ってるんです。お腹すいてないのかな？ どうしたらいいのかな」と祖父母に相談という形で伝えてみると「そうだね。それは困るね」とかかわり方を考えてもらえるのでは。頼られると嬉しいおじいちゃん、おばあちゃんです。



「孫疲れ」に注意しましょう

孫の世話に疲れる祖父母も増えていて「孫疲れ」という言葉もあるようです。自分の親だから昔と変わらないイメージがあるかもしれませんが、年齢を重ねると体力や気力は低下します。祖父母にとっては、動き回る子どもの相手はかなりの重労働。それを踏まえて、預ける頻度や時間を検討しましょう。



食物アレルギーについて伝えましょう

子どもに食物アレルギーがある場合は、食べさせてはいけない食材をはっきり伝えましょう。NG食品を書いたリストを渡す等して事故を防ぎましょう。一般に祖父母の世代は食物アレルギーに対する意識が低く「食べて慣れれば治る」と考える人もいます。



そして「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えましょう。そうすることで次回も気持ちよく預かってくれるに違いありません。🎁

祖父母に預けられない方も多と思います。「私だって子どもを預けてリフレッシュしたい！」そう感じられた時は子育てコンシェルジュが「子育てサービス」の紹介をさせていただきます。

母子健康手帳を受け取られてから、子どもさんが18歳に成長するまで「妊娠から子育てのこと」を一緒に考えていきましょう。いつでも訪ねてきてください。電話でもOKです。

電話 0533-56-2305

